

ゲート点検・整備要領(案)によくある質問

番号	該当ページ	条項	名称	質問内容(ポイント)	回答
1	721	4章 解説71	(PLC)	中小企業団発行「PLCを使用した制御回路のメンテナンス・PLC点検チェックリストと報告書」の入手方法。	報告書は、インターネット上のテクノナレッジ・ネットワーク(製造技術に関する技術情報サイト)に掲載されています。 閲覧、ダウンロードが可能です。 テクノナレッジ・ネットワークのアドレスは、以下の通りです。 http://www.techno-qanda.net/dsweb/ テクノナレッジ・ネットワーク →ものづくり基盤技術技能教本マニュアル →PLCを使ったシーケンス制御回路のメンテナンス
2	684	4章 解説36	ワイヤロープ素線切れ	○ゲート点検・整備要領(案)P684、の例では 6×24の場合:1ピッチの間に2.4本未満($24 \times 0.1 = 2.4$) ○玉掛け技能講習テキストP68、では 6×24ロープ 24本×6=144本 144本×0.1=14.4本・・・15本廃棄 この違いは何か? どちらを採用すればよいか?	ゲート点検・整備要領(案)では「1ストランド(子縄)の1ピッチの間に2.4本($24 \times 0.1 = 2.4$)」と記述しています。6×24のワイヤロープの場合、ストランドは6本ありますから、全体では2.4本×6=14.4本となり玉掛け技能講習テキストと同数となりますが、1ストランドでの素線切れを管理することより、より厳しい判定基準といえます。(1ピッチ間で1ストランド内に3本素線切れがあった場合、玉掛け技能講習テキストでは使用可能ですが、ゲート点検・整備要領(案)では更新の必要があります。)